

総合索引

25年

7月～12月

No.3120～3144

経財ニュース・トピックス

〈編注〉分類は50音順

出所のない記事は企業会計基準委員会(ASBJ)関連

✳会計基準等✳

企業結合

適用時期は変更なし……………3121(7/8)

専門委での審議終了……………3125(8/5)

改正企業結合基準を9月に公表へ…3127(8/26)

企業結合会計基準等を改正……………3130(9/16)

金融商品

日本版IFRS, 金融商品会計は検討項目の抽出段階……………3141(12/2)

在外子会社

修正を要する在外子会社の会計処理を追加へ……………3125(8/5)

在外子会社の非上場株式, 公正価値測定は修正不要……………3126(8/19)

要修正の在外子会社処理を追加, 27年3月期から……………3127(8/26)

税効果

基準諮問会議 66号のテーマ提言は持越し……………3123(7/22)

復興税廃止 税効果への影響は?…3138(11/11)

基準諮問会議 監査委員会報告66号を見

直しへ……………3140(11/25)

新規の開発テーマを決定……………3144(12/23)

退給関係

〈本誌〉昇給率の見直しの影響は?……………3120(7/1)

〈本誌〉退職給付基準の早期適用は40社超……………3122(7/15)

〈本誌〉「未適用の会計基準等の注記」にみる退職給付基準の適用時期<番外編>……………3123(7/22)

〈本誌〉期間定額か, 給付算定か…3123(7/22)

〈本誌〉改正退給対応待ったなし 期日までに数字揃わない可能性も…3127(8/26)

〈本誌〉改正退職給付基準の早期適用は35社……………3130(9/16)

〈本誌〉改正退給基準の適用とCF計算書……………3132(9/30)

〈本誌〉日本工営が改正退給基準を適用……………3133(10/7)

〈本誌〉連単分離と連結財務諸表非作成会社……………3134(10/14)

〈本誌〉改正退給基準の適用と会社法……………3137(11/4)

退給基準の「重要性基準」の取扱いに見

解	3138(11/11)
<本誌> 数理計算上の差異等の処理年数 変更	3141(12/2)
<本誌> 改正退給基準適用、影響額の処 理で子会社対応も検討	3142(12/9)
<本誌> 改正退給基準 自社計算組も対 応着々	3143(12/16)

日本版ESOP

会計処理の公開草案公表	3121(7/8)
草案 適用しない会社でも開示面に影響 も	3122(7/15)
取扱い 年内にも公表へ	3133(10/7)

保険

保険契約専門委を設置	3121(7/8)
第1回保険専門委を開催	3124(7/29)

リース

短期リースの簡便の処理に賛否両論	3124(7/29)
IASB/FASBのリース案に対するコメン ト検討	3126(8/19)
IASB/FASBの改訂リース案にコメント	3133(10/7)
リース事業協 IASB/FASBの改訂リー ス案、9割が支持せず	3134(10/14)

その他

無形資産に関するプロジェクトを休止	3121(7/8)
会計方針と表示方法、どちらの変更?	3129(9/9)
本誌が選ぶ2013年“経財”5大ニュース	3144(12/23)

ASBJ/FASFLレポート

第266回 「リース」改訂公開草案に対 し、意見募集	3120(7/1)
第267回 日本版ESOPの処理案を公表 議決他	3121(7/8)
第268回 IFRSエンドースメント手続を	

検討	3123(7/22)
第269回 繰延税金資産の回収可能性お よびリストラクチャリングの会計処理 を調査へ	3125(8/5)
第270回 改正企業結合、基準化へ 実 務対応報告18号、アップデート	3127(8/26)
第271回 IFRSエンドースメント手続、 ガイダンスや教育文書の作成も	3129(9/9)
第272回 IASB公開草案「リース」に対 するコメント文案を検討他	3131(9/23)
第273回 第2回ASAFの報告を巡り、 議論	3134(10/14)
第274回 IASB・FASBの「保険契約」 案へのコメントを議論	3136(10/28)
第275回 IFRSエンドースメント作業、 「初度適用」等検討	3138(11/11)
第276回 ASAF会議に向け、「純損益/ OCI・測定」など検討	3141(12/2)
第277回 新テーマに税効果、繰延税金 資産の回収可能性ルール見直し等	3144(12/23)

✳国際会計基準(IASB/IFRS)✳

金融庁・企業会計審議関係

「国際会計基準(IFRS)への対応のあり方 に関する当面の方針」の意義	3121(7/8)
エンドースメントされたIFRSの導入を 巡る4つの疑問	3122(7/15)
「国際会計基準(IFRS)への対応のあり方 に関する当面の方針」に対する雑感	3123(7/22)
IFRS任意適用の要件緩和 当面の方針 受け諸規則改正へ	3128(9/2)
企業会計審議会「当面の方針」について	3130(9/16)
IFRS任意適用の要件緩和で連結財規等 改正	3137(11/4)

ASBJ・エンドースメントIFRS部会

エンドースメントの作業部会設置…3125(8/5)

第1回部会 日本版IFRSの審議始まる

来秋の完了を目途…3128(9/2)

第2回部会 従業員給付・のれん等が対

象に…3131(9/23)

第3回部会…3134(10/14)

第4回部会 日本版IFRS, 初度適用時

は遡及適用が必要…3137(11/4)

第5回部会 減損戻入れは修正なしか

…3141(12/2)

ASBJ・ASAF対応専門委

対応初会議, 概念FWを議論…3120(7/1)

第2回会議に向け意見調整…3131(9/23)

その他

民法(債権関係)改正反対意見とIFRS収益

認識(案)の接点…3121(7/8)

IFRS財団岡田氏・IASB鷲地氏 日本企

業のIFRS使用状況に「危機感」…3124(7/29)

「のれん」を償却したくないのなら

…3125(8/5)

IAS19号「従業員給付」の適用による連

結修正…3126(8/19)

IFRS適用状況 残るはアジア・米国

採用国では修正は“稀”…3126(8/19)

IASB「概念フレームワークの見直し」

への意見募集…3127(8/26)

第2回ASAF会議対応で意見調整…3131(9/23)

「日本版IFRS」と「米国版IFRS」…3131(9/23)

米国市場上場450社がIFRS使用…3132(9/30)

経団連 IFRS「実務対応参考事例」

…3132(9/30)

JICPA IFRS適用後に内部管理に使用

する基準は?…3136(10/28)

✳ディスクロージャー✳**金融庁関係**

IFRS任意適用の要件緩和 当面の方針

受け諸規則改正へ…3128(9/2)

株主資本等変動計算書が横型の様式に

…3128(9/2)

減損, 関連当事者取引等で記載不十分

…3130(9/16)

金融審 新規上場後3年は内部統制監査

を免除へ…3135(10/21)

IFRS任意適用の要件緩和で連結財規等

改正…3137(11/4)

関係機関の活動状況等を公表…3139(11/18)

会計士の活動領域拡大に関するアクショ

ンプラン改訂…3140(11/25)

企業結合会計基準踏まえ財規等改正へ

…3140(11/25)

東京証券取引所関係

上場制度見直し, 不正リスク基準対応

…3120(7/1)

25年3月期業績予想, 通期のみでの開示

が38社増…3121(7/8)

東証新指数 ROE中心に銘柄選定…3125(8/5)

新指数「JPX日経インデックス400」始

動…3138(11/11)

週刊「適時開示」ニュース

6/18～6/24…3120(7/1)

6/25～7/1…3121(7/8)

7/2～7/8…3122(7/15)

7/9～7/15…3123(7/22)

7/16～7/22…3124(7/29)

7/23～7/29…3125(8/5)

7/30～8/5…3126(8/19)

8/6～8/19…3127(8/26)

8/20～8/26…3128(9/2)

8/27～9/2…3129(9/9)

9/3～9/9…3130(9/16)

9/10～9/16	3131(9/23)
9/17～9/23	3132(9/30)
9/24～9/30	3133(10/7)
10/1～10/7	3134(10/14)
10/8～10/14	3135(10/21)
10/15～10/21	3136(10/28)
10/22～10/28	3137(11/4)
10/29～11/4	3138(11/11)
11/5～11/11	3139(11/18)
11/12～11/18	3140(11/25)
11/19～11/25	3141(12/2)
11/26～12/2	3142(12/9)
12/10～12/16	3143(12/16)

※監査・レビュー※

企業会計審議会監査部会

不正リスク基準策定後初会議	3120(7/1)
監査基準を改訂、特別目的の財務諸表監査を明文化へ	3139(11/18)
組織内会計士、監査の実務経験が強みに	3142(12/9)

日本公認会計士協会 (JICPA)

引当金に関する実務処理を検証	3120(7/1)
監査人の民事責任、16件中4件で認定	3121(7/8)
組織内会計士を積極支援へ	3122(7/15)
訂正報告書の財表監査で留意点示す	3124(7/29)
会計士の能力開発、資格取得後教育含め検討	3125(8/5)
企業価値評価ガイドラインを改正	3125(8/5)
研究大会 中小指針適用で貸付利率低減	3130(9/16)
金融商品監査の考慮事項を公表	3133(10/7)
IFRS適用による製造費用項目への影響を調査	3135(10/21)
資本連結手続実務指針等を改正へ	3139(11/18)

監査役等と監査人との連携に関する研究報告を改正	3139(11/18)
新EDINET対応でIT委員会研究報告草案を公表	3144(12/23)

その他

SESC 虚偽記載関連で個別事例11件を掲載	3121(7/8)
日本監査研究学会 第35回東日本部会開催、「不正リスク」をテーマに議論	3125(8/5)
監査役協 内部統制システムの監査に関する留意点示す	3138(11/11)

※会社法改正等※

日本取締役協 独立取締役選任義務化求める	3136(10/28)
経済同友会 複数独立取締役の選任義務化求める	3138(11/11)
会社法の改正法案が国会に提出	3142(12/9)
東証 社外取締役選任義務化へ漸進	3142(12/9)
社外取締役を置くことが相当でない理由を開示へ	3143(12/16)
26年度税制改正大綱 会社法改正関連は3点	3144(12/23)

※企業動向(会計処理の変更事例等)※

TSR GC注記 25年3月期は32社、前年比2割減	3120(7/1)
TSR 25年3月期の上場会社 報酬1億円以上の役員は301人	3123(7/22)
<本誌>会計方針変更、24年4月～25年2月期に26社・28件	3123(7/22)
株主優待引当金割引券等の発行で引当金計上	3124(7/29)
<本誌>25年3月期、会計方針の変更は115件	3126(8/19)
<本誌>定額法増加続く 25年3月期	

- 海外展開・グループ内統一等で70件
3127(8/26)
- <本誌>定率法から定額法への流れ鮮明
3129(9/9)
- <本誌>開示すべき重要な不備, 25年3
 月期は7社.....3129(9/9)
- <本誌>貨物船の耐用年数, 延長の動き
3129(9/9)
- <本誌>内部統制評価の不表明, 25年3
 月期は2社.....3130(9/16)
- <本誌>26年3月期1Q 東証1部の
 12%がセグメント情報の記載省略
3131(9/23)
- 国税庁 24年民間企業平均給与は408万
 円.....3132(9/30)
- 全国証取 平成24年度株式分布状況調査
3134(10/14)
- アナリスト協 個人投資家向け情報, 充
 実傾向継続.....3135(10/21)
- <本誌>見積りの変更71社76件.....3136(10/28)
- カゴメ 決算日を3月末から12月末に変
 更.....3136(10/28)
- 25年会計士試験合格者, 前年比12.5%減
 の1,178人.....3140(11/25)
- TDB全国メインバンク調査 三菱東京
 UFJ, 5年連続首位もシェア減少
3142(12/9)
- 26年会計士試験, 第I回短答式出願者は
 前年比2割減.....3143(12/16)
- ※学会・セミナー・その他※**
- 会計サミット, 管理会計で経営改革 納
 得感が鍵.....3124(7/29)
- 東京国税局 西村新局長 記者会見要旨
3127(8/26)
- トーマツ CFOは“経営を支える主体
 者”.....3128(9/2)
- 簿記学会 簿記上の取引概念が拡大
3129(9/9)
- 関東信越国税局 迫田局長インタビュー
3129(9/9)
- 日本内部統制研究学会 第6回総会を開
 催.....3130(9/16)
- 会計研究学会 名古屋で第72回大会開催
3131(9/23)
- 国際会計研究学会 3つの“2016年間
 題”に対応を.....3132(9/30)
- 監査法人アヴァンティア, I2ANセミ
 ナーを主催.....3135(10/21)
- 信頼されてこそ正しい決算書!.....3135(10/21)
- 元AIJ部長「AIJ詐欺事件」を自ら語る
3136(10/28)
- カンパニーフォーラム2013開催 楽天の
 IFRS導入事例など紹介.....3143(12/16)
- 企業は非財務情報の“戦略的開示を”
 アナリスト協会講演会.....3143(12/16)

ミニファイル

✳退職給付会計✳

IAS19号と在外子会社	3120(7/1)
期間帰属方法の選択	3121(7/8)
著しく後加重?	3124(7/29)
年金数理人	3125(8/5)
ポイント基準の数式変形	3127(8/26)
転がし方式	3129(9/9)
イールドカーブ直接法と重要性基準	3141(12/2)
年金資産	3142(12/9)

✳国際会計基準 (IFRS) ✳

J-IFRS	3122(7/15)
セール・アンド・リースバック	3125(8/5)
OCIオプション	3127(8/26)
特段の取組み	3128(9/2)
保険契約負債の測定	3133(10/7)
短期リース	3133(10/7)
簿価純資産方式	3134(10/14)
IFRSでIPOを目指す場合	3137(11/4)
IFRS対応方針協議会	3139(11/18)

✳その他会計✳

四半期の税金費用	3121(7/8)
EPSと自己株式	3122(7/15)
リコール損失引当金	3126(8/19)
マネジメント・アプローチ	3131(9/23)
セキュリティソフト	3132(9/30)
ポイント引当金	3135(10/21)
返品調整引当金	3136(10/28)
製品保証引当金	3138(11/11)

取得関連費用	3140(11/25)
先端設備投資のリース取引	3143(12/16)
監査役の決定権	3144(12/23)

✳開示✳

虚偽記載による上場廃止基準	3120(7/1)
3ヵ月情報	3123(7/22)
GC注記	3128(9/2)
内部統制評価の訂正	3129(9/9)
単体開示の簡素化	3130(9/16)
次世代EDINETの稼働開始	3131(9/23)
インラインXBRL	3135(10/21)
自由記載形式	3137(11/4)
連結・非連結移行時の開示	3138(11/11)
業務純益	3141(12/2)

✳会社法✳

ハイブリッド型	3130(9/16)
社外取締役の選任	3136(10/28)
監査等委員会設置会社	3143(12/16)
監査役の決定権	3144(12/23)

✳監査・内部統制・その他✳

強制ローテーション	3123(7/22)
上場コスト	3124(7/29)
日本版Jobs法とJ-SOX	3132(9/30)
統制環境	3134(10/14)
自己資本利益率(ROE)	3139(11/18)
テクニカル上場	3140(11/25)
上場市場変更の目的	3142(12/9)
クラウドファンディング	3144(12/23)

- ・新退職給付会計基準における退職給付債務の計算手法について……………3131(9/23)
大和総研 年金数理人 三上 徹
- ・厚生年金基金制度の見直しと加入企業における会計上の論点……………3133(10/7)
有限責任監査法人トーマツ 堀田 晃裕
- ・誌上セミナー, 改正退職給付会計基準
第1回 全体像……………3133(10/7) 第3回(最終回)割引率編……………3141(12/2)
第2回 期間帰属方法……………3137(11/4)
IICパートナーズ 代表取締役/公認会計士 中村 淳一郎
- ・平成26年度第1四半期に向けた新退職給付会計基準適用のポイントと今後の留意事項
……………3141(12/2)
有限責任あずさ監査法人 三輪 登信

■日本版ESOP

- ・実務対応報告公開草案第39号「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い(案)」の解説……………3124(7/29)
企業会計基準委員会 前専門研究員 西村 智洋

✽会計実務等✽

■実務Q & A 会計・税務処理と申告調整

- 第40回 消費税率引上げと会計処理(家賃, 短期前払費用)……………3144(12/23)
鶴田 泰三

■経理実務最前線! Q & A 監査の現場から

- 第30回 組織再編の手法と会計処理への影響……………3132(9/30)
新日本有限責任監査法人 山岸 聡
- 第31回 親子会社の決算日統一……………3134(10/14)
新日本有限責任監査法人 鯨坂 雄二郎
- 第32回 再生可能エネルギー事業……………3137(11/4)
新日本有限責任監査法人 松村 剛
- 第33回 固定資産のグルーピングとセグメント情報の関係……………3140(11/25)
新日本有限責任監査法人 新井 篤
- 第34回 連結子会社化する場合の会計処理と開示上の留意点……………3143(12/16)
新日本有限責任監査法人 廣住 成洋

■ざっくり知りたい「連結経理管理の高度化」

- 第1回 連結経営管理高度化プロジェクト失敗の本質……………3133(10/7)
- 第2回 連結経営管理の高度化モデル……………3134(10/14)
- 第3回 連結経営管理高度化プロジェクトの進め方～基本構想フェーズ編……………3135(10/21)
- 第4回 管理連結の制度設計とシステム対応……………3136(10/28)
- 第5回(最終回) 統合的な連結経営管理に向けた新しい取組み……………3137(11/4)

KPMGジャパン 庄司 芳彦

■シリーズ これからの管理会計を語ろうⅡ ケーススタディ編

- 第11回 「忙しい」が口癖の営業マン……………3120(7/1)
 第12回 押し売りとは化する顧客維持型マーケティング……………3122(7/15)
 第13回 株主重視は本当か……………3124(7/29)
 第14回 世界でただ1つの会計センターを実現したオラクル……………3126(8/19)
 第15回 経理部の廃止を宣言した社長の本音……………3128(9/2)

公認会計士 金子 智朗

■教えて、先生

- 第11回 多国籍企業の租税回避問題……………3120(7/1)
 第12回 内部統制の課題……………3121(7/8)
 第13回 法人事業税の超過課税……………3131(9/23)
 第14回 新インデックス「JPX日経400」……………3140(11/25)
 第15回 社外取締役の設置義務付けと監査役制度……………3142(12/9)
 第16回 業績管理の現状と課題……………3144(12/23)

■現代会計の見方・考え方

- 第7回 貸借対照表の現代的変容－その形と方向－……………3124(7/29)
 第8回 OCIは何処から来るか－その性格と出所－……………3127(8/26)
 第9回 OCIの諸相－OCI／リサイクリングの相対化－……………3132(9/30)
 第10回 アカウンティングとファイナンスの交錯－岩田巖と現代－……………3141(12/2)
 第11回 概念フレームワークの制度性－会計的支配機構という見方－……………3143(12/16)

駒澤大学 教授 石川 純治

■現代会計論考

- 第30回：少数株主とは誰か Part 3……………3121(7/8)
 第31回：資本とは何か Part 1：純資産の部……………3123(7/22)
 第32回：資本とは何か Part 2：「資本取引・損益取引区分」の変質……………3125(8/5)
 第33回：資本とは何か Part 3：資金調達・運用手段としての資本と負債……………3127(8/26)
 第34回：資本とは何か Part 4：新株予約権……………3129(9/9)
 第35回：資本とは何か Part 5：評価・換算差額等(累計その他包括損益)……………3131(9/23)
 第36回：資本とは何か Part 6：バーゼルⅢにみる自己資本のコア……………3133(10/7)

フジタ国際会計コンサルティング(株) 代表取締役 藤田 敬司

■国際税務会計シリーズ

- No.1 管理会計から発し、国際税務の課題となった移転価格……………3135(10/21)
 No.2 独立企業間価格と公正価値の違いと共通性…………… 3137(11/4)
 No.3 無形資産会計と国際税務：共働関係と共通課題……………3139(11/18)
 No.4 「収益・費用」と「利得・損失」の国際会計と国際税務……………3141(12/2)
 No.5 タックス・ハイブンを巡る国際税務・会計の課題Part 1……………3143(12/16)

フジタ国際会計コンサルティング(株) 代表取締役 藤田 敬司

- ・ベンチャーキャピタル等の投資会社における未公開株式評価ガイドラインとその適用事例
 ………………3126(8/19)

新日本有限責任監査法人 加登 一人/渡部 紘士

✳️ディスクロージャー✳️

- ・企業会計実務者分科会－これまでの議論の報告……………3122(7/15)
 経済産業省 企業会計室 畠山 多聞
 ・特設注意市場銘柄の積極的な活用等のための上場制度の見直しに係るQ & A……………3127(8/26)
 株式会社東京証券取引所 上場部ディスクロージャー企画G 前川 圭史
 ・次世代EDINETタクソノミの適用開始時期とその留意点について……………3141(12/2)
 株式会社プロネクサス 竹内 正

- ・シリーズ「企業内容等開示制度のポイント解説」

- 第1～3回 企業内容等開示制度の概要……………①3138(11/11) ②3139(11/18) ③3141(12/2)
 第4～6回 有価証券の募集……………①3142(12/9) ②3143(12/16) ③3144(12/23)

東北大学会計大学院 教授 谷口 義幸

✳️監査✳️

- ・「監査事務所検査結果事例集」の公表について……………3128(9/2)
 監査審査会事務局 審査検査室長 野口 徹郎
 ・監査やレビューによって保証される財務諸表の信頼性の水準……………3128(9/2)
 日本監査研究学会「監査・保証業務研究」課題別研究部会
 ・「公認会計士の専門業務に関する社会の認識の調査」の結果について……………3132(9/30)
 公認会計士業務の社会的認知に関する研究会 青山学院大学大学院
 教授 多賀谷 充/准教授 中村 繁隆/教授 町田 祥弘/教授 松本 祥尚
 ・日本監査研究学会第36回全国大会 統一論題「グローバル化と会計プロフェッ
 ション」……………3142(12/9)

公認会計士 三宅 博人

✳️会社法✳️

- ・ 役員の報酬・賞与・慰労金の基本と実務Q & A <185> 能力不足の取締役の解任と正当な理由……………3129(9/9)
弁護士 小林 公明

✳️国際会計基準 (IAS/IFRS) 関係✳️

- ・ 「国際会計基準(IFRS)への対応のあり方に関する当面の方針」のエッセンス……………3127(8/26)
関西学院大学大学院 教授 杉本 徳栄
- ・ リース再公開草案に対する経団連コメントの概要…………… 3129(9/9)
経団連経済基盤本部 副本部長 井上 隆
- ・ 動き始めたJ-IFRS, どこに行く?……………3129(9/9)
かえで会計アドバイザー株式会社 公認会計士 岡村 憲一郎
- ・ 経団連のIFRS実務対応検討会の取組みについて…………… 3140(11/25)
一般社団法人日本経済団体連合会 経済基盤本部 浅野 岳紀
- ・ IASBの収益認識プロジェクトの動向⑥ 収益認識累計額の制限, ライセンス, 回収可能性…………… 3141(12/2)
有限責任 あずさ監査法人 松田 麻子

■IFRSにおける適用上の論点

- 第16回 企業結合のための新しい企業の設立…………… 3125(8/5)
有限責任 あずさ監査法人 田中 弘隆/太田 実佐
- 第17回 在外営業活動体における機能通貨の決定…………… 3131(9/23)
有限責任 あずさ監査法人 三上 伸也/ Roanne Coman
- 第18回 IAS40号「投資不動産」の識別及び振替え……………3135(10/21)
有限責任 あずさ監査法人 山邊 道明/島田 諤子
- 第19回 企業結合における識別可能な無形資産の認識……………3139(11/18)
有限責任 あずさ監査法人 林 祐樹/加藤 邦彦
- 第20回 デリバティブとして会計処理される非金融商品の売買契約…………… 3143(12/16)
有限責任 あずさ監査法人 三上 伸也/中川 祐美

■IFRSをめぐる動向

- 第54回 負債と資本…………… 3121(7/8)
あらた監査法人 鳥飼 裕一
- 第55回 IFRS第3号「企業結合」の適用後レビュー……………3126(8/19)
あらた監査法人 吉岡 亨
- 第56回 収益認識(IFRS初度適用企業の取扱い)…………… 3132(9/30)
あらた監査法人 井上 雅子
- 第57回 関連会社・共同支配企業とのダウンストリーム取引から生じる利益の消去について…………… 3136(10/28)
あらた監査法人 矢農 理恵子

第58回	IAS第1号「財務諸表の表示」の限定的範囲の修正	3140(11/25)
	あらた監査法人 井上 雅子	
第59回	収益認識(再審議の終了)	3144(12/23)
	あらた監査法人 井上 雅子	

■ Q & A コーナー 気になる論点

(78)	IASBの再公開草案「リース」(2)	3120(7/1)
(79)	IASBの再公開草案「リース」(3)	3121(7/8)
(80)	日本版ESOPの会計処理案	3123(7/22)
(81)	IASBの再公開草案「リース」(4)	3124(7/29)
(82)	IASBの保険契約の再公開草案	3126(8/19)
(83) ~ (89)	IASB概念フレームワークの改正案(1) ~ (7)	3128(9/2) ~ 3134(10/14)
(90)	改正連結会計基準の課題	3136(10/28)
(91)	IFRSにおける農業の会計	3138(11/11)
(92)	IFRSにおける不利な契約の取扱い	3140(11/25)
(93)	改正連結基準の実務指針案	3142(12/9)
(94)	IFRSにおけるヘッジ会計(1) - 公正価値オプションの拡がり -	3144(12/23)

早稲田大学 大学院会計研究科 教授 秋葉 賢一

■ Q & A でわかる!初めてのIFRS

中級編	第24回: 初度適用	3120(7/1)
上級編	第1回: IFRS適用上の全般的考慮事項	3133(10/7)
上級編	第2回: 公正価値	3135(10/21)
上級編	第3回: 財務諸表①	3137(11/4)
上級編	第4回: 財務諸表②	3139(11/18)
上級編	第5回: 財務諸表③	3141(12/2)
上級編	第6回: 収益	3144(12/23)

京都監査法人 山田 善隆

■ 概念からひもとくIFRS

第12回	IAS第40号「投資不動産」・IAS第41号「農業」	3120(7/1)
第13回	IAS第20号「政府補助金の会計処理及び政府援助の開示」・IAS第12号「法人所得税」	3122(7/15)
第14回	IAS第12号「法人所得税」②・IAS第19号「従業員給付」①	3124(7/29)
第15回	IAS第19号「従業員給付」②	3126(8/19)
第16回	IAS第19号「従業員給付」③	3128(9/2)
第17回	IAS第19号「従業員給付」④・IAS第37号「引当金, 偶発負債及び偶発資産」①	3130(9/16)
第18回	IAS第37号「引当金, 偶発負債及び偶発資産」②	3132(9/30)
第19回	IFRS第2号「株式に基づく報酬」	3134(10/14)

第20回	IFRS第3号「企業結合」①	3136(10/28)
第21回	IFRS第3号「企業結合」②・IFRS第10号「連結財務諸表」・IFRS第11号「ジョイント・アレンジメント」①	3138(11/11)
第22回	IFRS第11号「ジョイント・アレンジメント」②・IAS第28号「関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資」	3140(11/25)
第23回	IFRS第12号「他の企業への関与の開示」・IAS第27号「個別財務諸表」・IAS第17号「リース」①	3142(12/9)
第24回	IAS第17号「リース」②	3144(12/23)

米国財務会計基準審議会(FASB)・国際会計基準審議会(IASB)

国際研究員・客員研究員 川西 安喜

✳️海外事情✳️

■海外会計トピックス

監査の確認手続で財務不正を摘発, シェアード・サービスの利点, その他	3120(7/1)
なぜ経営計画が達成できないのか, FASB; 事業の継続性についての開示, その他	3121(7/8)
GAO: 企業の実効税率, 内部統制の外部監査除外企業について, その他	3122(7/15)
なぜ予測が時間の無駄か, 米国では監査人の強制交代制禁止, その他	3123(7/22)
CEOへの道筋, OECD: 租税回避防止策, その他	3124(7/29)
GAO: SEC職員のモラル低い, ビジネス・インテリジェンスを高める, その他	3125(8/5)
請求に対して支払をしない理由, 会計事務所は革新的ではない	3126(8/19)
新収益認識基準での6つの判断, 監査報告書の内容変更, その他	3127(8/26)
不正増加は銀行強盗より簡単だから, 仕事を誇れない会計士, その他	3128(9/2)
クラウド・コンピューティングのリスク, 新しい税不正摘発システム, その他	3129(9/9)
モバイル・バンキングの5つのリスク, マイクロソフトのノキア買収, その他	3130(9/16)
コスト低減は人減らし優先ではない, FASB新体制, その他	3131(9/23)
租税回避の手口, 自社開発か外部調達か, その他	3132(9/30)
マドフ事件の会計士, トップ20企業のリーダーシップ育成, その他	3133(10/7)
SEC内部通報報償金で最高額, 製造の米国回帰, その他	3134(10/14)
ツイッターのうさんくさい会計, 職業会計人は財務のリーダーたれ, その他	3135(10/21)
不正摘発責任は誰か, 財務とビッグ・データ	3136(10/28)
会計業界の責任の所在, ビッグデータを経営に役立てる, その他	3137(11/4)
戦略計画と財務担当者, 緊急時対応計画のポイント11項目, その他	3138(11/11)
従業員の不正をモニターすべき5つの領域, 監査不十分で訴訟2つ, その他	3139(11/18)
新収益認識基準への対応, ビッグ・データ活用にはガバナンスが必要, その他	3140(11/25)
ペンタゴン不正会計常態化, SECとPCAOB不正対応でタッグ, その他	3141(12/2)
規制強化は事業リスクのトップ, リスクの高いコンサル業務への動き, その他	3142(12/9)
2014年CFOが対応すべき8つのテーマ, 収益認識基準変更の衝撃, その他	3143(12/16)

マドフとのインタビュー, SEC:不正に関するリスク要因, その他……………	3144(12/23)	文京監査法人 飯田 信夫
■アジアビジネス最前線!		
台湾の自由貿易協定への取り組みについて……………	3121(7/8)	PwC台北事務所 奥田 健士/谷吉 英樹
ベトナムにおける外貨規制……………	3123(7/22)	PwCベトナム・ハノイ事務所 井上 智/あらた監査法人 甲府方 英輔
ミャンマー投資にあたっての留意事項……………	3125(8/5)	PwCシンガポール/ミャンマー 服部 基之
中国における日系企業のシステム化状況……………	3127(8/26)	PwC中国 高橋 忠利/藤原 章博
フィリピンにおける移転価格ガイドライン……………	3129(9/9)	PwCマニラ事務所 東城 健太郎
インドにおける移転価格税制と最新動向……………	3132(9/30)	PwCバンガロール事務所 尻引 善博
マレーシアにおける典型的な従業員不正について……………	3134(10/14)	PwCマレーシア クアラルンプール事務所 杉山 雄一
タイ国投資奨励策の改変の動き……………	3136(10/28)	PwCバンコク事務所 魚住 篤志/江橋 美恵
シンガポールの最近の動向と統括会社の方向性……………	3138(11/11)	PwCシンガポール 服部 基之
中国税関の現状と上海自由貿易試験区の発足について……………	3140(11/25)	PwC中国 高橋 忠利/松尾 晶
約半世紀ぶりのインド会社法の改正……………	3142(12/9)	PwCバンガロール事務所 尻引 善博
■世界会計よもやま話		
ダブル・アイリッシュ withダッチ・サンドイッチ〜グーグルに見る節税……………	3123(7/22)	
お金持ちアップルの悩み……………	3124(7/29)	
「強烈的減収・減益,そして営業CFの回復」への指導力 国美電器……………	3128(9/2)	
認知心理学と幻の原発……………	3132(9/30)	
会計は非定型分析か定型手仕事か?それとも……………	3133(10/7)	
東北大学発ベンチャー, 東方軟件の営業CF……………	3139(11/18)	
クレジット・カード大国, 韓国〜消費税徴税の切り札……………	3140(11/25)	愛知工業大学 教授 岡崎 一浩

■現地 (タイ) レポート～アジアの街角から

第1回	3132(9/30)	第3回	3139(11/18)
第2回	3136(10/28)	第4回	3144(12/23)

内田 博史

・アジア太平洋管理会計学会2013年度大会を終えて…………… 3143(12/16)

APMAA会長(2010-2013), 甲南大学 教授 上埜 進

・本誌アンケート「中国子会社管理の現状」～集計結果・解説…………… 3144(12/23)

有限責任あずさ監査法人 増田 進／一ノ瀬 光裕

✽インタビュー・対談・座談会等✽

・元IASB理事 ポール・パクター氏にきく ピュアIFRS, 300社適用なら採用国…………… 3126(8/19)

・森 公高 日本公認会計士協会会長に聞く 公認会計士業界の行方と日本におけるIFRS

…………… 3135(10/21)

・組織内会計士に聞く! 第11回 会計士の知識で会社に貢献に…………… 3139(11/18)

岩谷産業株式会社 経理部 経理・税務担当 担当部長 原田 貴志

・スペシャル対談: 加藤 厚 前企業会計基準委員会(ASBJ)副委員長 VS

金燦洪(キムチャンホン)韓国会計基準委員会(KASB)副委員長…………… 3140(11/25)

・改正退職給付会計基準への実務対応【座談会】-わが社の検討と選択-…………… 3143(12/16)

日本電気株式会社 高橋 公/日清食品ホールディングス株式会社 大島 広昭/

出光興産株式会社 西 邦博/アズビル株式会社 山崎 和久/<司会・進行>小澤 元秀

✽コラム・書評等✽

■企業経営と経済・社会

第17回 岩盤突破に向けて発想の転換を…………… 3124(7/29)

第18回 東京一極集中と地方疲弊…………… 3127(8/26)

第19回 壮絶高齢化と無関係でいられない…………… 3138(11/11)

第20回 期待と不安のない交ぜの歳末…………… 3143(12/16)

ライフネット生命保険(株) 顧問 大西 又裕

■ハーフタイム

「慣行」から生まれるルール型会計基準の見直し…………… 3122(7/15)

「仕事の効率」と「生活のゆとり」…………… 3123(7/22)

会計審の「当面の方針」とJ-IFRSの位置づけ…………… 3125(8/5)

法人実効税率引下げ競争のあり方…………… 3126(8/19)

ビジョン無き不毛なIFRS反対論に終止符を…………… 3128(9/2)

IFRS全面強制適用10年アプローチ…………… 3135(10/21)

東電の分社化を考える…………… 3136(10/28)

リーマン倒産から5年、何が変わり、何が変わらないか……………3137(11/4)

■まったり談話

③「泉質評価の条件」……………3125(8/5) ⑤ふくしまは広い……………3132(9/30)

④「どこに行くかが悩ましい」……………3129(9/9)

大西 又裕

■書評

井上 雅彦著『三訂増補版 キーワードでわかる 退職給付会計』……………3128(9/2)

公認会計士・年数理人 三輪 登信

金児昭監修 NTTビジネスアソシエ株式会社著『会社「経理・財務」の基本テキストⅠ・Ⅱ』

……………3122(7/15)

前青山学院大学 大学院教授 井上 良二

藤田 昌也著『会計理論のアポリア』……………3123(7/22)

駒澤大学 教授 石川 純治

資 料

・企業会計審議会「国際会計基準(IFRS)への対応のあり方に関する当面の方針」……………3120(7/1)

・自由民主党「国際会計基準への対応についての提言」……………3121(7/8)

・JPX日経インデックス400……………3139(11/18)